

ふくしまっ子

体力向上総合プロジェクト

H28. 6. 17
第12号
福島県教育庁
健康教育課

体力向上に関する体育指導担当者研修会 その3

県北・相双地区の研修会の様子をお伝えします。

県北・相双地区

平成28年5月30日（月） 会場：とうほう・みんなの文化センター

【実践発表】

- 運動身体づくりプログラムの実践について
本宮市立五百川小学校 教諭 小林 真一 様
全校で運動身体づくりプログラムに取り組むきっかけの一つとして、運動会の全校種目に取り入れたり、体育主任として同僚の先生方にプログラムの講習会を開いたりして実践に取り組んでいる様子を紹介していただいた。
- 体育専門アドバイザーの効果的な導入について
伊達市立小国小学校 教諭 遠藤 博 様
アドバイザーとともに運動身体づくりプログラムに丁寧に取り組んでいる様子を紹介していただいた。それをきっかけに、教師間で指導法や情報の共有を図っていることがうかがえた。
- 部活動や武道等授業における外部指導者の活用について
南相馬市立小高中学校 教諭 伊賀 篤二 様
様々な制限がある相双地区の児童生徒の現状と、運動部活動等の外部指導者について、その様子を詳しく知ることができた。外部指導者がいかにして運動の楽しさを味わわせ、生徒との信頼関係を築いていっているのかを紹介していただいた。

情報交換

今回も「自分手帳」についての情報交換を行いました。5～6人のグループで、体力向上に生かせる自分手帳の取組について話し合いが行われました。参加した先生方からは次のような話題が出ました。

- ・ 体力テストの結果をしっかりと蓄積していき、体力向上に関する一人一人の意識を変えていきたい。（小学校）
- ・ 前の自分と比較させることができるので記録をこまめに記入させていきたい。（中学校）
- ・ 生徒一人一人にアンケートをとり、その結果をもとに、自分手帳の効果的な活用方法について考えている。（高校）



（文責 健康教育課 指導主事 塩田 俊郎）